

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

指定文化財(建造物)



場所

・総社市上林



時代

・不明



指定年月日

・昭和55(1980)年

12月18日



所有

・国分寺



見学

見学可

びっちゅうこくぶんじごじゅうのとう

備中国分寺五重塔

新高見梁市市

総社市

早倉矢井浅里笠
島敷掛原口庄岡
町市町市市町市



この建造物について

日照山国分寺は、奈良時代に建てられた備中国分寺の再建を目指した増鉄和尚により、江戸時代・享保2(1717)年から19年の歳月を費やして建てられたものです。

吉備路のシンボルともいべき五重塔は、国分寺の再興からおおよそ100年後の文政4(1821)年ごろより、証旭和尚によって建立が図られました。工事が完了したのは、天保14(1843)年か弘化元(1844)年のことといわれています。県内唯一の五重塔で、初重から三重までがケヤキ材を、四重以上がマツの木を主に使用しています。